

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：24521

学校名：新札幌わかば小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○全国のT得点を上回った種目 反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	○全国のT得点より下回った種目 握力、上体おこし、長座体前屈、20mシャトルラン、	・50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げに関しては、1年生から体力テストを行ってきた結果が出ているのではないかと考える。また、全国のT得点を下回っているものは柔軟性や持久力を伴うものであるため、日常的な運動習慣が課題ではないかと考える。
体力・運動能力 <女子>	○全国のT得点を上回った種目 握力、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	○全国のT得点より下回った種目 上体おこし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、	・男子と同じく、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げに関しては、1年生から体力テストを行ってきた結果が出ているのではないかと考える。全国のT得点を下回っているものに関しても男子と同じく、日常的に運動を行うような習慣をつけていく必要があると考える。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	「運動やスポーツをすることは好きですか。」という質問に「好き」「やや好き」と答えた児童の割合が、男子で100%、女子で88.9%となり、全国平均を上回っている。また、スポーツクラブ等へ所属している児童が63.3%おり、継続した運動習慣が身に付いている児童が多い一方、土曜日・日曜日の休日に運動をする時間が0分という児童も男女ともに一定数いる。		・「今後どのようなことがあれば今より体育授業が楽しくなるか」という質問に対して、「できないことができるようになったら」「自分に合ったペースで行うことができた」という回答が多くあるため、体育授業の中でもそれぞれの課題を見つけ、自分にあった解決方法を探していけるような授業を充実させていく必要があると考える。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○専科教諭との連携を密にし、中学校とのつながりを意識した指導を充実させる。 ○授業の中で課題を考え、自分で技や難易度を選択できるような多様な場を設定するなどして、「これならできそう」という安心感をもたせ、子どもたちの「やってみたい!」という主体性や「できた!」という達成感を大切に授業づくりを推進する。 ○体育的行事の50m走では、順位ではなくタイムを計測することにより、自分の記録を伸ばすことを目標に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級活動や教師の働きかけを通して、休み時間に楽しく運動する機会をつくる。 ○子どもたちからアンケートを取り、中休みの「マッスルタイム」(なわ跳び、走る、投げる等)の内容を決めることで、子どもたちにとって楽しい運動機会にする。 ○マッスルタイムで家庭やちょっとした空き時間にも行うことができる運動を行うことで、運動へのハードルを下げ、運動習慣の充実を図る。 ○委員会活動で企画を考えることで、運動を楽しむ機会をつくる。 ○小中一貫のパートナー校と連携して、運動企画を実施し、ウェルネスイベントの参加促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○養護教諭、栄養教諭との連携により、運動、食事、睡眠の重要性を理解させ、それぞれの質を高める態度を育てる。 ○スマホ安全教室、薬物乱用防止教室等の出前授業を充実させ、健康への意識を高める。 ○スクールカウンセラーと連携をとりながら、児童の心の安定を図る。
--------	--	---	---

家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の学習応援団(スキーボランティア)やアスリートバンク等による授業サポートの充実を図る。 ○「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」に取り組み、運動・スポーツに参画する意欲を高める。 ○「ダンスを活用した運動機会の創出事業」を通して子どもたちの運動機会を増やすとともに、家庭や地域との連携も図る。
--------------	--

